

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームなの花すながわ(2号館)	評価実施年月日	平成22年2月10日、15日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成22年2月20日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>運営理念を見直し、地域密着型を意識した理念に変更している。また、その人らしい生活が送れるように理念に掲げている。</p>	○	<p>掲示している理念が古いままになっている為、新しく作り直し掲示する、また、今後も理念に沿ったケアに努めていく</p>
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>名札の裏に理念が書いてあり、いつでも確認できるようにしている。また、朝の申し送り時に理念の復唱を行っている。</p>	○	<p>今後も理念の復唱を行い、日々ケアに活かし実践に取り組んでいきたい</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>なの花新聞に理念を載せ、二ヶ月に一回家族や地域の方に配布し、理念が浸透、理解して頂けるよう取り組んでいる。</p>	○	<p>今後も掲載を継続しより理解が得られるよう努めていきたい。また、町内会や家族会等も活用しより多くの方への理解、協力が得られるようにも努めていきたい</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>イベント等に地域の方を招待をしたり、散歩等で外に出た時には挨拶や談笑をし交流が持てるよう努めている。</p>	○	<p>今後も挨拶などは継続していきたい。また、挨拶等だけではなく気軽に立ち寄って頂けるような声掛けもしていきたい。</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会に参加しゴミ拾い等にスタッフ、入居者共に参加している。また、地域の方が野菜や花を差し入れてくれるなど交流が持っている。</p>	○	<p>今後も町内会の行事などに参加し交流を深めていきたい。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>看護学生や実習生等の受け入れを行っている。</p>	○	<p>今後も継続的な実習生の受け入れを行ってほしい。また、運営推進会議等を活かし地域の方に事業所として役に立てることがないか話し合っていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	外部評価について職員会議で内容や意義を説明し、職員一人ひとりが自己評価に取り組んでいる。外部評価の結果は職員会議にて全職員に報告し改善が必要なものは改善に取り組んでいる。	○	現在、事故防止マニュアル作成中であり、早急に仕上げていきたい。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ご家族や町内会の方々の意見を聞き、サービスの向上に活かしていきたい。	○	今後は地域包括支援センターの協力を得て、より良いサービスを提供していきたい。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	運営推進会議以外にも介護福祉課の連携を図り、情報交換のもと、サービスの質の向上に努めている。	○	今後も意見交換を密に行っていきたい。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	研修や勉強会等で学ぶ機会はあるが職員全体が理解していない。	○	今後は事業所内の勉強会等を通じて、職員全体が理解できるよう取り組んでいきたい。また、必要性に応じて、これらの制度を活用していきたい。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員は研修会等に参加し、虐待の定義等を理解し虐待防止に努めている。また、職員会議を通じて研修報告を行い意識の向上に努めている。	○	今後も積極的な研修等の参加を行い、また、マニュアル作成を行い、意識の向上と共に虐待防止に努めていきたい。
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約を結ぶ際は事前に、聞き取り調査や施設の見学などを行い、十分なアセスメントを取り不安や疑問点の解決に努めている。また、解約時にも十分な説明を行うと共に、関連機関や他事業所との連携のもと、理解、納得が得られるように努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者の苦情・不満は表情の変化や、日常の会話等から聞き取る様にし、申し送り等で話し合わせ対応している。また、電話は希望があれば使用でき家族や知人との連絡も自由である。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	イベントや日常の様子、職員の異動等をなの花新聞に掲載し定期的に報告している。また、急変時には電話連絡し、その他の事については面会時に報告している。金銭管理については管理者が出納帳をつけ、毎月家族に報告し確認してもらっている。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情等がいつでも訴えられるよう苦情用紙の作成や、苦情担当者を選定し玄関掲示板に掲示している。また、道や市の機関にも相談出来るよう、各機関の情報も掲示している。家族の訪問時にも不満や要望が無いか聞くように努め職員の指導や運営に活かしている。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議や個別にスタッフの意見や提案を聞くように努め運営に反映させている。また、不満や苦情に関しては本社に意見・苦情相談窓口が設置されおり職員の苦情等に対応している。	○	今後は定期的な面談を実施し職員の意見を聞き出す機会をより設ける。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	入居者の状況の変化等に対応出来るよう、話し合いのもと、休憩時間の変更や(時間帯の変更)、業務の見直し、勤務表の調整等を行い職員の確保に努めている。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動に関しては各館のバランスや状況に応じて行っている。また、入居者に関しては、各個人の心理的状況や理解力に応じて説明しダメージを防ぐよう努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修会等の案内を回覧し、参加したい職員や経験等に応じて参加できるよう勤務表の調整等を行っている。また、職員会議や日常の勤務を通じて指導やアドバイスがあり職員のスキルアップに努めている。	○	今後も研修会に積極的に参加して行けるよう努める。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	中空知地域で認知症を支える会の研修に参加し同業者と情報交換を行ったり、他事業所の行事に招待され参加する等交流が持てるように努めている。また、砂川市立病院の精神科医師がホームに来て下さり、勉強会を開いてくれるなどケアの質の向上に努めている。	○	今後も交流の場が持てるよう研修会の参加等に参加して行きたい
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	勤務体制の把握を行い管理者へ指示のもとストレスの軽減や改善に努めている。(親睦会・慰労会・勤務や業務の見直し・有給休暇等)		
22	○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	努力・実績等を把握し評価に活かしている。また、職員の資格取得に向け、研修会等の情報を提示し、参加を呼び掛けている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	家族等から相談を受けた際には、本人及び家族が事前にホームの見学を行い、本人の希望や不安など聞き出すように努めている。利用に関して不安がある場合は時間をかけ面談を行い安心して利用できるように努めている。また、体験入居も行っている。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	相談を受けた際には家族の方にも見学に来ていただき、家族の希望や不安を聞くようアセスメントを行い、安心、納得が得られるように努めている。また、利用に至るまでの間にも連絡を取り合い情報交換等も行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談内容を把握し、場合によっては市役所への問い合わせや他施設の紹介等を行っているが他のサービスへの具体的支援は行っていない。	○	他の事業所との連携を図り、他のサービスの利用が出来るよう努めていきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	事前見学や体験入居等を行い事前にホームの生活を知ってもらうように努めている、また、事前にご本人の生活歴や性格等把握し、その方がホームの雰囲気に少しずつなじめるようにも努めている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	家庭的な生活の場とし、掃除や調理など共に行っている。また、日常の会話の中で出来事や悩み事を聞いたり、共感出来る関係が築けるよう努めている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	面会時などこまめに日常の生活の様子を報告したり、ご家族の要望を聞いたりと共に情報を共有し支え合う関係に努めている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	アセスメントを行い家族との関係理解に努めている。家族との外出や外泊、家族の宿泊等自由に行えるようにしている。また、面会時には居室にてゆっくり過ごせるよう配慮し関係を維持、築けるよう支援を行っている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの美容室等へ行けるよう家族や管理者の対応で出掛けており、手紙や電話等を使い関係が途切れないよう対応している。また、信仰に応じて教会等への外出も行えるよう支援している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士の対人関係を考慮、把握し孤立せず支え合えるよう支援している。また、孤立しそうな入居者には職員が間に入り関係が築けるよう支援している。	○	今後も利用者同士の関係性に考慮、把握し良い関係が築けるよう努めていきたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	殆どが事業者から病院への入院となりサービスの終了となってしまう。入院先の病院には今までの経過や日常生活での様子を伝えたりと情報の提供はしている。	○	今後は本人・家族が安心できるよう関係性を継続していきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話や表情等から思いを把握し、職員全体で思いを共有し、それを基に援助計画の作成やケアに活かすよう努めている。また、実現が困難な希望等は代替案をたて本人本位で暮らしが出来るよう支援している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	センター方式を活用し、生活歴等の把握が出来るようアセスメントを行っている。入居後も日常会話等から情報を引きだせるよう努めている。また、個別のファイルを作成しいつでも情報が見られるよう、書き足せるようになっている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日常の観察やコミュニケーションを通じて現状、変化等の把握に努め、把握した情報を申し送りや記録用紙を活用し、職員全体で把握共有できるようにしている。また、3ヶ月毎に記入するB-3シートを活用し、有する力の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	介護計画は本人、ご家族の意向を踏まえ、職員での話し合いのもとケアプランの作成を行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画は3カ月毎のモニタリングを行い、6カ月毎に評価と見直しを行っている。また、身体的、精神的変化でケアの見直しが必要となった場合は、臨時カンファレンスを行い、変化に対応できるよう現状に沿った介護計画の見直し作成を行っている。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子や気づき等はセンター方式を活用し、申し送りやカンファレンスにて情報の共有を行い、介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	医師や歯科医らの定期的な往診や、美容師の定期訪問により家族の要望に応じている。受診する場合もご家族対応が原則となっているが状況に応じては管理者や看護師が同行するなど柔軟な支援に努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	年二回の避難訓練や救命講習を行い消防署との連携を図っている。また、ボランティアの方による催し物(手品・日舞・琴)など協力を得て支援を行っている。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他のサービスの利用は行っていない。	○	必要性に応じて他の事業者と協働し様々なサービスの利用を検討していく。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	現在は必要性がなく協働できていない。	○	必要性に応じて必要となった場合は地域包括支援センターと協働して行けるよう連携していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人、ご家族の希望に応じた、かかりつけ医、病院の受診をご家族の協力のもと行っている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	連携医療機関の医師が認知症相談医であり往診時等に看護師を通じて相談等をしている。また、砂川市立病院の専門医がホームにて勉強会を開催して下さり協力を得ている。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職員一名が勤務しており、入居者の健康管理等をおこなっている。また、医療面での相談にも応じてくれ日常のケアに活かせる環境にある。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院中は職員がお見舞いに行ったりと入居者が安心出来るように努めている。また、管理者、看護師が病院側との連絡を密に行い入居者の早期退院に向けて取り組んでいる。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	重度化、終末期に近づいてからしか話し合いは持たれていない。	○	今後は、早い段階での話し合いを重ねて職員全体で情報、方針を共有する。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	あまり前例もなく、情報、方針の共有が出来ていないためチームとしての取り組み、準備が不十分である。	○	関係者を交えたカンファレンスの実施、方針を共有出来る書類や、マニュアルの作成等に努め、終末期にチームとして十分な支援が出来るように努めていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>別の事業所、病院等へ移り住んだ場合、関係者と連絡、話し合いを行っている。また、添書等を作成し情報提供を行いダメージを防ぐよう努めている。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>入居者のプライバシーが保てるようスタッフ一人ひとりが自覚を持ち対応している。また、記録用紙の保管に関しても見えない場所に保管し、実習生等が実習に来た際には、個人情報を見えないよう誓約書を書いてもらっている。</p>		
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>思いや希望を表わせる入居者は多いので、その都度傾聴し本人が納得して頂けるよう説明をしながら自分決定して頂いている。また、自分の思いを表わせない入居者に対しては、こちらから聞き取りを行い幾つかの選択肢を提示し本人の希望に沿えるよう努めている。</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>その日の体調や気分等を尊重し、入居者は自由に過ごせている。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>ご家族の協力のもと、本人が望む馴染みの美容室へ行かれたり、化粧品の購入等本人が希望するおしゃれ、身だしなみが出来るよう支援している。</p>	○	<p>今後ご家族の協力を得ながら本人の望む身だしなみが出来るよう努めていきたい。</p>
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>一人ひとりの出来る事、出来ない事、得意な事、不得意な事を把握し食事準備や片付け等を一緒に行っている。また、献立の内容も共に考え楽しめるよう努めている。</p>	○	<p>今後無理なく、充実した気分になれるような作業が出来るよう支援に努めていきたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	飲酒に関しては日常的ではないが、イベント行事等で既往歴等をもとに看護師と相談の上提供している。また、おやつに関しては好みの物を聞き出し購入するように心掛けているが、一人ひとりの好みに合わせた物は提供出来ていない。しかし、家族が購入したり、入居者自ら購入して楽しんでいる。	○	今後は一人ひとりの要望に応えられるよう努めていきたい。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	毎日、排泄表の記入をおこない把握に努めている。また、誘導が必要な方は声掛け、誘導を行い、失禁やパット類の使用が出来るだけ減少するよう努めている。	○	今後も排泄パターンの把握に努め、失禁を減らしトイレで気持ちよく排泄出来るよう支援していきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	保清を考え週二回以上の入浴が出来るよう支援している。また、異性職員を嫌がる方や、入浴出来なかった方には柔軟な対応のもと、同性職員との交代や清拭にて対応している。また、入浴剤の使用等心地良い入浴が出来るよう努めている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	一人ひとりの習慣や体調に合わせ、本人が休息したい時には好きな時間に休息して頂いてる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	出来る事、出来ない事を見極め、掃除、調理など一人ひとりの力や、生活歴に合わせた役割の参加をして頂いている。また、カラオケや散歩、トランプ、百人一首など楽しみや気晴らしの支援も行っている。	○	今後も一人ひとりの力を把握し、無理なく意欲的に役割に参加して頂けるよう支援していきたい。レクリエーションや気晴らしとなる事を行う時間がより持てるよう努めていきたい
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	その人の力に応じて、管理出来る方はお金を所持し支払いや管理を行っている。出来ない方に関しても手助けのもと、所持し買い物等へ行っている。また、買い物へ外出する事を行事として取り入れ自分で買い物する事を支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	自由に外へ出られるようになっており、冬以外は裏庭にベンチやテーブルを置き思い思い過ごせるように工夫している。散歩や買い物、近所の方への訪問等柔軟に対応し支援している。	○	今後も好きな時間に散歩等が出来るよう支援していく。また、見守り、安全面への配慮にも気をつけ、支援していきたい。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	神社のお祭りや、リンゴ狩り、お花見等にイベント行事として外出し喜んで頂いている。ご家族との外出、外泊も自由に出来るようになっている。	○	今後もご家族の協力を得てより外出の機会が増えるように努めていきたい。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	本人の希望があれば電話をかけたり、または取り次ぐ等支援している。最近では手紙や年賀状、暑中見舞いのやりとりの支援にも努めている。また、ゆっくりと安心して話が出来よう配慮にも努めている。	○	今後も電話や手紙を活用し支援していきたい。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会・訪問時間に制限はなく、家族や友人等が気軽に訪ねられるよう、環境整備や雰囲気作り(掲示物、花壇、職員の挨拶等)に努めている。また、家族と入居者だけになれるような配慮にも努めている		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	勉強会等に参加し身体拘束がないケアに取り組んでいるが、具体的な行為については正しく理解出来ない点もあるのが現在の状況	○	勉強会や研修会に参加した職員は職員会議の中で、学んできた事を報告しているが、今後は時間を設けより詳しく事業所内の勉強会として全体で学ぶ機会を作りたい
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は鍵をかけず自由に出入りできるようにしている。夜間は防犯の為施錠している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	プライバシーや安全に配慮し所在の把握に努めている。また、何かあった場合はすぐに対応できるよう職員間で所在を確認し合うようにしている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	一人ひとりの状況に応じて、安全に使用できるよう注意喚起や見守りを行っている。また、洗剤や包丁については夜間物品庫で保管している。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	現在事故防止マニュアルの作成中である。その時の一人ひとりの状況に応じ管理者や看護師の指示のもと防止に努めている。	○	事故防止マニュアルを早急に完成させ事故防止に努めて行きたい。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	救急マニュアルを作成し緊急時に備えている。消防署の方を招き蘇生法などを学ぶ勉強会を行ったが定期的な訓練は行っていない。	○	今後は定期的に学ぶ機会を設けていきたい
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年二回の火災訓練を行い避難方法や消火器の使用方法を学んでいる。	○	運営推進会議等を利用し地域の方の協力が得られるように努めていきたい
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	必要時には、施設長、管理者、看護師が対応し説明している。また、介護計画に載せ説明したり、ご家族が訪問時等に説明もしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日々の会話やケア等で体調の変化や異変の早期発見に努めている。発見時は看護師や管理者に報告し速やかな対応がとれるよう努めている。また、記録用紙や申し送り等で情報を共有し統一したケアが行えるようしている。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬支援は職員会議で話し合わせ統一した方法で行われている。薬の変更は看護師からの申し送りや記録にて把握出来るようになっており、副作用や用法も看護師からの説明を受けて支援している		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	便秘が及ぼす影響を理解し、食事の際には食物繊維が多い食べ物や、乳製品、水分摂取量等に気を付け支援している。また、散歩等を行い体を動かすような工夫も行っている。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後の声掛けを行い、一人ひとりに合わせた対応で口腔内の清潔保持に努めている。また、週一回は義歯洗浄剤を使用し汚れや除菌に努めている。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食べる量や水分量は観察や記録等から把握し一人ひとりにあった量を提供している。また、水分を嫌がる方には少ない量をこまめに摂取してもらったり、食事の内容も体調不良時等は摂取しやすい物を提供したりと支援している。	○	今後も摂取する量や栄養バランスを考え工夫していきたい
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防マニュアルや研修会で学んだ事を活かし予防、対応に努めている。また、手洗い、消毒、室温・湿度の管理、換気等も行うように努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理・食事前の手洗い、包丁等の消毒、キッチンの掃除は毎日欠かさず行うようにしている。また、食材も新鮮な物を使用し、夏場のなま物や冬場の二枚貝など注意をようする時期は使わないように対応している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	気軽に出入りが出来るよう玄関前に花を飾ったり、ホーム周辺に花壇を作るなど行っている。また、毎朝玄関の掃除を行い美化に努めている。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用空間には、日常やイベント時の写真、クラフト作品などを飾り季節感等を出せるよう努めている。また、不快な音や光がないよう配慮にも努めている。(眩しい太陽を遮るレースカーテン等)		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングの窓の近くや、玄関等には一人掛けの椅子が置いてあり、一人になれる空間で思い思いに過ごせるような工夫をしている。また、一人掛けの椅子を移動させて並んで座ったり、ソファーを利用したりと気の合う利用者同士で自由に過ごせている。		
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時には衣服や家具など馴染みの物を持ってきていただき、使い慣れた物で生活頂けるようにしている。また、ご家族の写真や好きな本等も持ってきていただき居心地良く暮らせる工夫をしている。		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	一人ひとりにあった居室の温度調整や、天候に応じた換気、温度、湿度の調整を行っている。また、入居者の要望に応じた換気、温度調整も行い過ごしやすい環境作りに努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>手摺りの設置や杖の利用等一人ひとりに合わせた対応で自立した生活が送れるように支援している。また、スロープや段差が少ない等安全面にも配慮した造りになっている。</p>	
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>居室や浴室等へ表札や暖簾を掛けたり、居室のカレンダーへ1日の出来事を記入したりと、わかる力を最大限利用し混乱や失敗を防ぐ工夫に努めている。</p>	
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>裏庭の畑や花壇、鉢植えの水やりなど外での活動が出来るよう支援している。また、夏場は裏庭でお茶を飲んだり、涼んだりと休息も出来るような活用をしている。</p>	

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ◎ ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ①毎日ある ②数日に1回程度ある ◎ ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ①ほぼ全ての利用者 ◎ ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ①ほぼ全ての利用者 ◎ ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ①ほぼ全ての利用者 ◎ ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ①ほぼ全ての利用者 ◎ ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ①ほぼ全ての利用者 ◎ ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ①ほぼ全ての家族 ◎ ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ◎ ④ ほとんどない</p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>① 大いに増えている ◎ ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>① ほぼ全ての職員が ◎ ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>① ほぼ全ての利用者が ◎ ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>① ほぼ全ての家族等が ◎ ② 家族等の2/3くらいが ③ 家族等の1/3くらいが ④ ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)